

TOKYO UNIVERSITY OF AGRICULTURE

東京農業大学教職課程 *Annual Report*

令和4年度版



東京農大教職課程×ESD×SDGs



世界をつなぐアグリカルチャー＆サイエンス



令和3年度 農大教職課程世田谷・厚木キャンパス 主な活動報告

令和3年度は with コロナの方針のもと、教職課程主催の教育研究フォーラム及び各種講習等は極力延期・中止は避け、対面に加えて、ZOOM ライブ配信や教材配信によるハイブリッド方式により実施しました。

4月 新入生教職課程ガイダンス
教育委員会による教員採用学内説明会（～5月）
令和4年度教員採用試験大学推薦学内説明会及び選考

5月 教員採用試験教育法規・学習指導要領勉強会
教育ボランティア募集説明会
4年生教育実習開始

6月 教員採用試験1次対策講座開講
新入生教職課程履修申込ガイダンス
1年生教職課程履修申込

7月 介護等体験への派遣開始

8月 オープンキャンパス
免許状更新講習開催
教員採用試験2次対策講座開講

9月 令和3年度教員採用試験対策講座開講
教採対策講座・教員採用試験合格者から学ぶ

10月 1年生教職課程履修開始

11月 第23回東京農大教育研究フォーラム
教採対策講座・教員採用試験合格者から学ぶ
教育委員会による教員採用学内説明会（～12月）

12月 世田谷・厚木合同第5回教育実習全体指導

2月 合格体験発表会

3月 卒業式（教員免許状授与）



本学で取得できる免許状※

■普通免許状

学 科	中学校教諭一種免許状	高等学校教諭一種免許状
農学部		
農学科	理科	理科・農業
動物科学科	理科	理科・農業
生物資源開発学科	理科	理科・農業
デザイン農学科	—	農業
応用生物科学部		
農芸化学科	理科	理科・農業
醸造科学科	理科	理科
食品安全健康学科	理科	理科・農業
栄養科学科	理科	理科
生命科学部		
バイオサイエンス学科	理科	理科・農業
分子生命化学科	理科	理科・農業
分子微生物学科	理科	理科・農業
地域環境科学部		
森林総合科学科	理科・技術	理科・農業
生産環境工学科	理科・技術	理科・農業
造園科学科	理科	理科・農業
地域創成科学科	—	農業
国際食料情報学部		
国際農業開発学科	理科	理科・農業
食料環境経済学科	社会	地歴・公民・農業
国際バイオビジネス学科	—	農業
国際食農科学科	—	農業

■栄養教諭免許状

学 科	免許状の種類
応用生物科学部	
栄養科学科	一種免許状

教員採用試験対策講座 —若手先輩教員から学ぶ—

教員採用試験対策講座では、毎年、「若手先輩教員から学ぶ」と題し、OB・OG教員をお招きし、教員採用試験や教員生活についてご講演をいただいています。2021年度の第1回は9月11日（土）、千葉県立我孫子高等学校・理科教諭の相原桃香先生、都立石神井特別支援学校・教諭の守屋鼓太郎先生、静岡県立浜松湖北高等学校・農業科教諭の山崎正訓先生の3名、第2回は12月5日（日）、横浜市立城郷中学校・理科教諭の引野優花先生、さいたま市立北浦和小学校・栄養教諭の長谷川菜々子先生、千葉県立茂原樟陽高等学校・農業科教諭の池内美里先生の3名の先生方です。プログラムの前半では教育実習の経験、採用試験合格に至る勉強法、現在の仕事についてお話をいただき、後半ではグループに分かれて、受講生一人一人の質問や悩みにじっくりと答えていただきました。最後は、先生方へのお礼として、常磐の松風・青山ほとりを全員で歌い、熱い時間を締めくくりました。受講生からは現職教員の本音が聞けて良かった、民間企業や講師を経ての経験談が非常に参考になったなど、大変好評でした。この熱い思いで採用試験を突破してほしいと願っています。



令和3年度 教職課程履修者数

学年	1年生(2021)										2年生(2020)										3年生(2019)										4年生(2018)										学科計	
学科・資格種別	人数	農業	中学校理科	高校理科	技術	社会	地歴	公民	情報	栄養	人数	農業	中学校理科	高校理科	技術	社会	地歴	公民	情報	栄養	人数	農業	中学校理科	高校理科	技術	社会	地歴	公民	情報	栄養	人数	農業	中学校理科	高校理科	技術	社会	地歴	公民	情報	栄養		
農学科	16	8	10	12	*	*	*	*	*	*	25	21	11	13	*	*	*	*	*	*	27	19	16	17	*	*	*	*	*	*	32	22	13	16	*	*	*	*	*	*	100	
動物科学科	22	11	11	15	*	*	*	*	*	*	26	12	16	17	*	*	*	*	*	*	25	13	11	13	*	*	*	*	*	*	22	8	17	18	*	*	*	*	*	*	95	
生物資源開発学科	22	4	17	20	*	*	*	*	*	*	21	6	17	20	*	*	*	*	*	*	16	6	12	14	*	*	*	*	*	*	24	8	16	17	*	*	*	*	*	*	83	
デザイン農学科	10	10	*	*	*	*	*	*	*	*	7	7	*	*	*	*	*	*	*	*	5	5	*	*	*	*	*	*	*	*	10	10	*	*	*	*	*	*	*	*	32	
厚木 計	70	33	38	47	0	0	0	0	0	0	79	46	44	50	0	0	0	0	0	0	73	43	39	44	0	0	0	0	0	0	88	48	46	51	0	0	0	0	0	0	310	
農芸化学科	14	2	14	14	*	*	*	*	*	*	9	2	8	9	*	*	*	*	*	*	9	2	9	9	*	*	*	*	*	*	8	3	8	8	*	*	*	*	*	*	40	
醸造科学科	16	*	16	15	*	*	*	*	*	*	12	*	9	12	*	*	*	*	*	*	2	*	2	2	*	*	*	*	*	*	11	*	10	11	*	*	*	*	*	*	41	
食品安全健康学科	12	3	10	10	*	*	*	*	*	*	9	1	7	8	*	*	*	*	*	*	2	0	2	2	*	*	*	*	*	*	4	0	4	4	*	*	*	*	*	*	27	
栄養科学科	23	*	1	1	*	*	*	*	*	*	23	13	*	3	3	*	*	*	*	*	11	10	*	0	0	*	*	*	*	*	10	20	*	1	1	*	*	*	*	*	20	66
バイオサイエンス学科	22	2	20	21	*	*	*	*	*	*	15	0	14	15	*	*	*	*	*	*	10	1	10	10	*	*	*	*	*	*	25	5	24	25	*	*	*	*	*	*	72	
分子生命化学科	20	1	18	20	*	*	*	*	*	*	15	2	12	13	*	*	*	*	*	*	14	1	13	14	*	*	*	*	*	*	17	2	16	16	*	*	*	*	*	*	66	
分子微生物学科	14	7	11	12	*	*	*	*	*	*	14	2	13	13	*	*	*	*	*	*	16	3	16	16	*	*	*	*	*	*	15	4	13	15	*	*	*	*	*	*	59	
森林総合科学科	30	16	11	12	16	*	*	*	*	*	21	9	12	13	9	*	*	*	*	*	26	12	16	18	15	*	*	*	*	*	13	4	9	10	3	*	*	*	*	*	90	
生産環境工学科	22	10	16	16	17	*	*	*	*	*	19	8	11	14	4	*	*	*	*	*	20	13	10	10	12	*	*	*	*	*	22	7	14	15	12	*	*	*	*	*	83	
造園科学科	10	5	5	5	*	*	*	*	*	*	8	3	6	6	*	*	*	*	*	*	5	2	2	3	*	*	*	*	*	*	14	11	5	5	*	*	*	*	*	*	37	
地域創成科学科	8	8	*	*	*	*	*	*	*	*	9	9	*	*	*	*	*	*	*	*	6	6	*	*	*	*	*	*	*	*	7	7	*	*	*	*	*	*	*	*	30	
国際農業開発学科	26	15	18	17	*	*	*	*	*	*	21	12	13	13	*	*	*	*	*	*	14	10	7	7	*	*	*	*	*	*	26	23	13	15	*	*	*	*	*	*	87	
食料環境経済学科	23	7	*	*	*	10	14	4	*	*	25	13	*	*	*	13	17	10	*	*	17	11	*	*	*	7	7	2	*	*	25	15	*	*	*	10	13	5	*	*	90	
国際バイオビジネス学科	1	1	*	*	*	*	*	*	*	*	2	2	*	*	*	*	*	*	*	*	3	3	*	*	*	*	*	*	*	*	10	2	*	*	*	8	*	*	3	*	16	
国際食農科学科	9	9	*	*	*	*	*	*	*	*	13	13	*	*	*	*	*	*	*	*	5	5	*	*	*	*	*	*	*	*	6	6	*	*	*	*	*	*	*	*	33	
世田谷 計	250	86	140	143	33	10	14	4	0	23	205	76	108	119	13	13	17	10	0	11	159	69	87	91	27	7	7	2	0	10	223	89	117	125	15	18	13	5	3	20	837	
北方農学科	18	18	*	*	*	*	*	*	*	*	12	12	*	*	*	*	*	*	*	*	15	15	*	*	*	*	*	*	*	*	23	23	*	*	*	*	*	*	*	*	68	
海洋水産学科	16	*	14	16	*	*	*	*	*	*	11	*	9	11	*	*	*	*	*	*	18	*	17	18	*	*	*	*	*	*	11	*	10	11	*	*	*	*	*	*	56	
食香粧化学科	10	*	10	10	*	*	*	*	*	*	4	*	4	4	*	*	*	*	*	*	8	*	8	8	*	*	*	*	*	*	8	*	8	8	*	*	*	*	*	*	30	
自然資源経営学科	8	*	*	*	*	6	*	8	*	*	8	*	*	*	*	6	*	8	*	*	6	*	*	*	3	*	6	*	*	*	9	*	*	*	5	*	9	*	*	*	31	
オホーツク 計	52	18	24	26	0	6	0	8	0	0	35	12	13	15	0	6	0	8	0	0	47	15	25	26	0	3	0	6	0	0	51	23	18	19	0	5	0	9	0	0	185	
大学 計	372	137	202	216	33	16	14	12	0	23	319	134	165	184	13	19	17	18	0	11	279	127	151	161	27	10	7	8	0	10	362	160	181	195	15	23	13	14	3	20	1332	

*各学年、入金実績より算出

令和3年度教育実習全体指導
教育実習への取り組み：実践的指導力を育む

東京農大教職課程では、教育実習に臨むに当たっての全体指導および個別指導を行っています。教育実習指導では模擬授業や教材研究など、教員としての指導力の向上や教育実習までの事務手続きなどの準備が主な内容となっています。特に毎年12月の全体指導では世田谷・厚木両キャンパスの全2、3年次生を対象に、現職の校長先生をお招きして教育実習の心構えや準備すべき事柄などの貴重なお話をご教授いただいております。

昨年度は新型コロナウイルスの影響で開催できませんでしたが、本年度は学生同士の間隔を確保した上で会場をオンラインで繋ぐという形式で、2021年12月11日(土)午後、百周年記念講堂及び1号館の各教室を使用し実施しました。

今回は、町田市立成瀬台中学校校長の奥山拓雄先生にご講演いただきました。奥山先生は本学の卒業生であり、教育実習に臨む心構えに加えてICT機器など学校現場の変化についてもご紹介下さいました。

また、午前中には栄養教諭の実習指導が行われ、全国学校栄養士協議会副会長の島崎聡子先生にご講演いただきました。

令和3年度
免許状更新講習

2021年8月7日(土)～11日(水)に免許状更新講習(必修・選択)を開講しました。選択領域のテーマは「バイオテクノロジー・プログラミングと木工・地域再生」。1日目は森林科学科上原巖教授とともに世田谷区の公園・緑地を歩き、自然観察体験を行いました。2日目は實野雅太助教のプログラミング題材と簡単な木材加工実習での教材作り、3日目は武田晃治教授の活性酵素に関する講義と実習に加えて、ザリガニSDGsについて体験的に学び、参加者から好評を得ました。

2009年度から導入された教員免許更新制も、2022年7月をもって廃止が検討されています。東京農大教職課程は今後も教育委員会・学校と連携し、教員研修に様々なかたちで貢献して参りますので、よろしくお願いいたします。

第23回東京農大教育研究フォーラム×SDGs

2021年11月13日(土)に第23回東京農大教育研究フォーラムが世田谷キャンパス1号館141教室にて開催されました。今年度は新型コロナウイルス感染症防止のため、一般の方はZOOMでの参加とさせていただきます。今回は農学部デザイン農学科教授長島孝行先生と、国際食料情報学部国際農業開発学科教授で教職・学術情報課程主任入江憲治先生のお二人がご講演されました。

インセクト・テクノロジーと教育

農学部デザイン農学科教授 長島孝行先生



「インセクト・テクノロジー」は私の造語で、昆虫などの小さな動物の機能性を社会に利用していく技術のことです。昆虫達がいかに多いか、人によっては百万種と言っています。哺乳類は4,600種類ですから、桁が違います。こうした虫達は身近な生き物であって、戦略も多様です。どこへ行ってもいる、そう考えると彼らの戦略を上手く利用すれば、持続的な社会ができるかもしれない、そういう意味でインセクト・テクノロジーをいう言葉を使っています。私は2001年に、小さな動物の機能性などを社会にうまく利用していくテクノロジーを立ち上げました。

自然のデザインや戦略というのは、アイデアの宝庫です。私が2000年からずっと使っている言葉、バイオミミクリーは、物の出来方あるいは生活の様子や戦略もすべて真似しようということです。具体的には、カタツムリの殻の構造を真似て汚れないタイルを開発し、タマムシの羽の構造を真似て塗料を使わずに金属に色をつけることに成功しました。また、生物や生物素材をそのまま使うバイオユーズドにも取り組みました。カイコ・糸研究では日本はトップ。膨大な研究の蓄積と実績があります。桑に関してもそうです。しかし、それを日本はやめてしまったんです。それなら「第

二次養蚕業」を始めればいいのです。私は新しい養蚕業として、シルクを使ったサプリメントやクリーム、石鹸を開発し市販に至っています。使い方だけではなく養蚕の仕方のイノベーションも考えないといけません。そこで無菌シルク工場を考えました。工場はすべて自動的に動き、人工飼料で温度と湿度を一定にして、年間100回蚕を育てています。

最後に、学問は好きなところから入れば良い、壁を作ってはいけない、というのが皆さんへのメッセージです。



熱帯における生物資源の利活用ー遺伝資源を求めてさまよい歩くー

国際食料情報学部国際農業開発学科教授・教職・学術情報課程主任 入江憲治先生



人類は、約1万年前に農業を開始以来、数多くの植物種の中から有用な形質をもつ個体の選抜を続けることで、現在ある作物を作り上げてきました。これらの作物は、民族間の交流や移動とともに、起源地から世界各地へ伝播していく過程で、日長、気温、降水量、水利条件、土壌条件、地形など、各地のさまざまな自然条件に適応してきました。また、各民族の異なる食文化や食習慣を背景に、調理・加工法や嗜好に合った品質を備えたタイプが選抜され、多様な品種が分化しました。このような自然選択と人為選抜の所産である各地に残る伝統品種には、収量や品質に関する特性はもとより、耐病性・耐虫性や環境ストレス耐性などに関する有用遺伝子が蓄積されています。近年、地球温暖化が進むことで、干ばつや高温障害、新たな病害虫の拡大などの問題が発生し、農業の安定生産に影響を与えています。このような問題への対応として新たな品種育成を進めることがあり、そのために多様な遺伝形質を持つ植物遺伝資源が必要となります。一方で、新しい作物や品種の開発に不可欠な遺伝資源が、改良品種や近代農業技術の普及、地域開発や人口圧力による耕地の拡大、過放牧、土地の劣化などが原因で、地球上から急速に失われています。そのため、現存する遺伝資源の多様性、すなわち遺伝的多様性を保全・維持することが、将来の食料安全保障にとって極めて重要になってきます。

遺伝資源の消失を防ぎ、有効に利用するために、遺伝資源を探索・収集して保存する取り組みが、世界中で実施されています。植物遺伝資源の探索は、改良品種、伝統的な地方品種、栽培植物の近縁野生種、未利用・低利用植物種などを対象とし、探索の主な目的は、採集した個体の持つ有用な遺伝資源を品種改良に利用することです。

遺伝資源を人類の将来にとってかけがえのない世界共通財産として再認識し、原産国の利益配分に十分に配慮しつつ、国際協力による遺伝資源保全と利用を推進することが、将来にわたる持続的な食料生産を可能としています。さらに長年にわたって管理・保存されてきた伝統野菜などの地域資源には、多様な種類の栄養や機能を有する成分が含まれている可能性があります。このような未開発の遺伝資源は、食料消費を通じて栄養価向上に寄与し、発展途上国および先進国の栄養不良、肥満、その他健康問題に貢献し、新型コロナウイルスを含む、今後起こるであろう疾病に対する予防になると考えられます。これらの伝統野菜を栄養や機能面から研究開発し、主要野菜に画一化せず栄養価が高く評価される伝統野菜を食生活に導入し、農食物を多様化させることが、食生活の改善になり健康へのレジリエンス(回復力)を高めることになります。



東京農大OB教員通信



第1回

埼玉県立特別支援学校羽生ふじ高等学園
大塚俊太 先生（食料環境経済学科卒）

現在私は、埼玉県立特別支援学校羽生ふじ高等学園農業技術科で農業の授業を主に担当しています。校務分掌は生徒指導部（交通安全、人権、校則、生徒指導、生徒会等）で、特に人権学習関係を担当しています。

まず、私が教員を目指したきっかけですが、はじめは高校の恩師に勧められて、何となく教職を履修していました。なので、企業への就職活動もしていましたが、教育実習を経験しそこで改めて教員を目指そうと決心しました。卒業後、1年目は農業高校で常勤講師として働きました。その年の採用試験で高校農業に合格。そのころ、県内に高等部単独の職業教育に力を入れている特別支援学校が開校していて、取り組みに興味があり希望をしました。それが今の学校で、9年目になります。

本校は1クラス10人で授業では1日中、農作業をしています（週15時間専門教科）。私はそれに非常にやりがいを感じています。生徒と何ができるかを考え、今まで様々なことにチャレンジしてきました。例えばGAP認証を取得したり、栽培コンテストに応募してみたり、蜜蜂を飼おうとしてみたり（これは猛反対を受け断念しましたが）。

教員のやることの中には、色んな仕事があります。もちろん嫌な事や苦しい仕事をやらなければいけない時もあります。ですが、自分の立場や与えられた仕事の中で何ができるかを考え、自分の好きなことと結び付けられれば、とても楽しい仕事になるのではないかと感じます。ちなみに私が今夢中なことは盆栽、農業高校よりも美味しいメロンを作ること、ビールかすを使った堆肥作りなどです。

最後になりますが、農業高校の教員を目指しているみなさんへ。農業の授業の特徴は、教材をある程度自分で選ぶことができることです。自分の色を出せるようになってくると仕事が楽しくなってきます。自分の得意なことや興味を増やしてみると良いと思います。



教職課程研究室紹介



教育学研究室・熊澤恵里子教授

東京農大教職課程を支える柱の一つが教育学研究室です。本研究室で教鞭を取る熊澤恵里子先生は本学着任以来、教育原理、教育制度概論など教職教養科目を担当するベテランで、大学院指導教授もつとめています。海外での教授経験や国際理解教育の専門員、中学社会科教員等の豊富な教育経験を生かし、学校ボランティアや模擬授業を中心とした東京農大ならではの実践的指導力の養成に力を入れ、数多くの教員を全国に送り出しています。現在コロナ禍で中断していますが、恒例の熊澤研究室主催情報交換会には全国のOB・OG教員＋αが集います。教職課程のクラス全員でわいわいがやがや支え合うというのが、熊澤先生の方針です。卒業後すぐに教職に就かなくても、様々な形で教育に関心を持つあるいは教職のサポーターになる可能性を願い、「東京農大らしさ」を大切に育んでいます。

熊澤研究室は、日本の教育の歴史、教育の思想、教育と社会を専門としています。なかでも、封建社会から近代社会に大きく転換した幕末明治の「教育の近代化とは何か」を研究テーマとしています。幕末のペリー来航を契機として、日本は国際的環境に対応しようとした。幕藩体制を支えていた思想・制度・組織に人々が疑問を持ち始め、それに代わる新たな思想・制度・組織が次々に登場した混沌とした時代です。この時代の過渡期に何が取捨選択されたのかを政府教育機関と福井藩校、平田国学等を事例に、著書『幕末維新期における教育の近代化に関する研究—近代学校教育の生成過程—』（風間書房、2007）で明らかにしました。東京農大に就職後は国内外の史料調査により、近代農学導入期の駒場農学校の教育近代化について学問と政治の観点から解明しています。福井藩校（普通学・理化学）・気吹舎（平田国学）・駒場農学校（農学・農芸化学・獣医学）の三本柱で長年研究に取り組んでいます。研究成果は教職課程の授業ではあまり還元する機会はありませんが、大学院の講義で紹介しています。「歴史研究の醍醐味は、地域の人と語り地域を知ること」と語る熊澤先生は、「足でかせぐ」をモットーに日々研究に取り組んでいます。

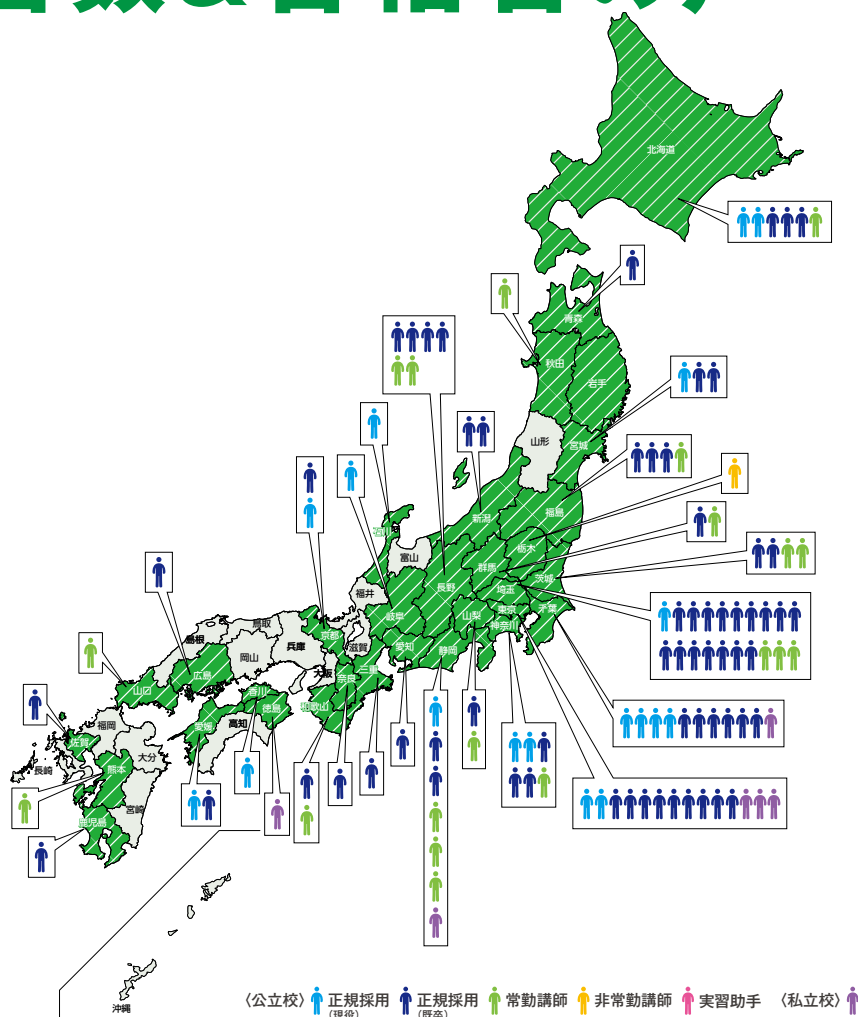


駒場農学校キンチ博士墓碑：終の棲家をKOMABAと名付けた

令和4年度 教員採用者数&合格者の声

採用種別	人数
●正規採用（公立）	81 (63)
●常勤講師（公立）	22 (3)
●非常勤講師（公立）	0 (0)
●正規採用（私立）	1 (0)
●常勤講師（私立）	3 (0)
●非常勤講師（私立）	1 (1)
●実験助手	1 (0)
総計	109 (67)

※令和4年4月1日現在。カッコ内は既卒者。
※大学院生・科目等履修生は既卒者扱い。



※公立校正規採用合格者数の集計につきましては、
全国の各教育委員会にご協力をいただきました。
誠にありがとうございました。

教員採用試験合格者体験談

教職課程では、2年生、3年生が教員採用試験合格者の体験談を聞く機会を設けています。今年度は、2022年2月18日に、合格者のうち6名に話をさせていただきました。それぞれ、独自の勉強ルーティーンを持っており、自治体の教師塾、対策講座、母校の先生、教職の担任など使える資源は貪欲に取り込んで、合格を勝ち取っていました。多くの後輩達が後に続くことを願っています。



千葉県公立中高合格 (理科)



私は自然や動物が好きで農大に入学しました。農大の教職課程や学科の授業でしか学べないことがいっぱいあるし、それが私の強みだと思っています。絶対に無駄なことではないので、自分のやってきたことに自信を持ってください!!!
(農学科・令和4年3月卒)

香川県公立高校合格 (農業)



必修科目に加え、教職課程を履修する事は、肉体的にも精神的にもハードでしたが、教育実習を通して教員という職業に魅力を感じました。勉強だけではなく、日々の生活を大切にすることで生徒たちに寄り添える教員を目指してください。
(農学科・令和4年3月卒)

石川県公立高校合格 (農業)



自分が教員として何が出来るのか、何がしたいのか、を追求すれば自分の強みが分かります。その強みを活かして頑張ってください。僕の強みは、豊かな専門知識を持っていることです。誰にでも強みはあります。自信をもって!!
(農学科・令和4年3月卒)

東京都公立中高合格 (理科)



教職は険しい道のりですが、仲間と切磋琢磨し乗り越えていってください。日々の積み重ねが最後に実を結びます。焦らず1つずつ行動し、夢を叶えてください。

(動物科学科・令和4年3月卒)

相模原市公立中学校合格 (理科)



毎日の生活、遊び、息抜き、その全てが皆さんの力になります! 一日一日を楽しんで大切に過ごした分だけ合格に近づいていくはず! きっと合格という自信と最低限の勉強を連れて。試験がんばってください!

(生物資源開発学科・令和4年3月卒)

静岡県公立高校合格 (農業)



どんな教師となり、どんな指導をしていきたいのかをよく考え、目標を立てて目指すことが大切だと思います。こつこつ努力を重ねれば必ず結果はついてきますので、沢山学んで夢に向かって頑張ってください!

(デザイン農学科・令和4年3月卒)

東京都公立中学校合格 (技術)



教職課程を履修したことで大学生活が充実し、教員になりたいという気持ちも高まりました。教育実習の経験はこれからの人生の糧になると思います。皆さんも最後まで頑張ってください。

(森林総合科学科・令和4年3月卒)



宮城県公立中学校合格 (技術)



農大での四年間は私の人生でとても濃密なものになりました。先生方からたくさん学び、友人と協力し、楽しいことや難しいことを経験する。その中で私は教職課程を履修し、私自身の夢であった教員採用試験に合格しました。

(生産環境工学科・令和4年3月卒)

京都府公立高校合格 (農業)



学習ボランティア等の活動を通して、理想の教師像を作ることができ、最後まで頑張れました。辛い時にも先生や仲間がいる事を忘れずに、何故教員になりたいかを思い出し、皆さんも夢に向かって頑張ってください。

(国際農業開発学科・令和4年3月卒)

千葉県公立中高合格 (理科)



自分が何をやりたいのか、どんな人になりたいのか、どんな世界になってほしいのか、たくさん考えて自分の軸を探してみてください。様々な経験や挑戦が教職課程にも活きてくると思います。仲間と一緒に頑張れ!

(国際農業開発学科・令和4年3月卒)

千葉県公立高校合格 (農業)



私は、最初から教員を志望しておりませんでした。しかし、教育実習や恩師との再会で、教員を目指すようになりました。将来の道を選択することは難しいですが、自分がどうなりたいかというイメージを強く持ち、頑張ってください。

(国際食農科学科・令和4年3月卒)

千葉県公立中学校合格 (技術)



教員を目指していく中で、教職課程の勉強だけでなく、少しずつの積み重ねが大事になってくると感じました。自分の目標に向けた努力をしていけるよう、頑張ってください。

(生産環境工学科・令和4年3月卒)

岐阜県公立高校合格 (農業)



私は、北海道オホーツクの広大なフィールドで様々な経験をしてきました。そのおかげで、「理論」と「実践」の両輪を学ぶことが出来ました。皆さんも様々な経験をして、合格を掴み取ってください。応援しています。

(北方園農学科 令和4年3月卒)

北海道公立高校合格 (理科)



私は採用試験の勉強をおこなっていくうえで、時間にメリハリをつけて根気よく勉強し続けることが大切だと感じました。日々勉強し続けることは大変なことだと思いますが、最後まで努力した自分を信じて頑張ってください。

(海洋水産学科 令和4年3月卒)

令和4年度 教職課程世田谷・厚木キャンパス 主な年間スケジュール

- 新入生へのガイダンス<4月～5月>
- 教育委員会担当者による採用説明会（学内）<4月～5月>
- 学校ボランティア説明会<4月～5月>
- 教育実習生の派遣<5月～11月>
- 新入生（1年次生）教職課程履修申し込み<6月>
- 介護等体験への派遣<3年次 7月～2月>
- オープンキャンパス<8月6日(土)・7日(日)>
- 夏季若手教員研修会の開催<8月実施予定>
- 教員採用試験対策講座の開催（世田谷・厚木キャンパス）<9月～翌年8月>
<講座全32回、模擬試験3回予定>
- 教育研究フォーラムの開催（世田谷キャンパス）

※ 詳しくは、東京農大ホームページをご覧ください。

令和4年度夏季若手教員研修会

日時：令和4年8月11日（山の日・祝日） 13:00～16:00

場所：（農業科）東京農業大学世田谷キャンパス 11号館2階教職課程模擬教室・（技術科）7号館1階木工室

講師：東京農業大学教職課程（農業科）村上敏文・（技術科）實野雅太

研修内容：（農業科）土壌分析：新科目「栽培と環境」に対応した簡単な土壌分析を行い、土と肥料の基礎を学びます。

（技術科）生物育成とプログラミング：生物育成とプログラミングを複合した教材のワークショップを行います。

※ 詳しくは、東京農大ホームページをご覧ください。

第24回 東京農大教育研究フォーラム

開催日時：令和5年2月18日（土）

開催場所：世田谷キャンパス 横井講堂

講演者及び講演題目：東京農業大学教職・学術情報課程教授 村上 敏文

「教員養成1826日」

東京農業大学教職・学術情報課程助教 加納 一三

「分布拡散と種分化」

共催：東京農業大学教職課程／全国教職員部会連絡協議会 後援：東京農業大学校友会／東京農業大学教育後援会

※ 詳しくは、東京農大ホームページをご覧ください。



教職課程教員・新刊案内

武田晃治教授『今こそ知ってほしい アメリカザリガニのおはなしーアメリカザリガニから考える環境科学教育ー』

アニュアルレポート第7号でご紹介したザリガニ研究の武田先生が、学校・生徒・保護者向けのリーフレットを刊行しました。アメリカザリガニの生活・特徴・出身地・生息地など、身も殻も糞も利用できる身近な「スーパー生物」アメリカザリガニの魅力をたっぷり紹介しています。ご希望の方は東京農大教務課教職担当までお問い合わせ下さい。e-mail: kyosyoku@nodai.ac.jp



熊澤恵里子教授『幻の女性獣医誕生計画ー近代日本の獣医養成史ー』（東京農業大学出版会、2022年3月、定価880円税込み）

ブックレット版。近代農学導入期の研究に取り組んでいる熊澤先生が、新史料により獣医養成史の一端を明らかにしました。女性の職業がまだまだ限られていた時代に、果敢に第1回獣医開業試験に挑戦した女性とその時代について、丹念に史料を辿りながら、多角的な視点から検討しています。



東京農業大学教職課程ホームページ

<http://www.nodai.ac.jp/edu/index.html>

東京農業大学教職課程 Annual Report [令和4年度版] 世田谷・厚木キャンパス編

東京農業大学教職課程

No.8 2022年4月22日

〒156-8502 東京都世田谷区桜丘1-1-1

編集人 熊澤恵里子・實野雅太

e-mail: kyosyoku@nodai.ac.jp

